

発想豊かな科学research発表

大和高田 青翔中高生ら30グループ

先進的な理数教育に取り組む文部科学省の「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」に指定されている県立青翔中学・高校（御所市）の生徒らの探究科学research発表会が、大和高田市のさざんかホールで開かれた。

生徒らは授業の中で自由なテーマでresearchを進めており、その成果発表として11日に開催。生徒や保護者ら約400人が見学するなか、高校2年と中学3年の11グループが壇上でresearch内容の解説をしたり、英語で要旨を説明したりした。

専門家らの審査で最優秀賞に選ばれたのは「はちみつによるリンゴの褐変防止の検討」のテーマでresearchした高校2年の3人グループ。はちみつが、リンゴの変色防止に効果があることを実証し、含まれる糖分が代わりに酸化したほか、糖分の保水力が役立ったと考察。浸透圧で食感が悪くならないよう、15%水溶液が最適であると結論を出した。

メンバーの一人、澤田陽

香さん(17)は「スムーズに説明できるよう毎日練習してきたので、ほっとした」と喜んでいった。

ポスター発表には奈良北高なども含めた19グループが出展し、生徒たちが見学者に説明した。餅を軟らかく保つために食物繊維を混ぜる方法を実証する内容や、伝統野菜のヤマトマナに青い光を当てるとポリフェノールが増加すると証明するなど、発想豊かなresearch成果が並んだ。



⑤ポスター発表でresearch成果を説明する生徒たち⑥最優秀に選ばれた「リンゴの褐変防止」についてのresearch発表(いずれも大和高田市で)

